



学校便り 3月号

山口市立嘉川小学校 (平成30年2月23日発行)

〒754-0897 山口市嘉川4986番地 ☎ 083-989-2206

「節(ふし)」

今年の冬は予想外の積雪にたびたび驚かされました。しかし、最強寒波到来と言われた寒さも緩みはじめ、太陽の光が輝きを増すとともに心地よい暖かさも感じられるようになってきました。校庭を歩いてみると、桜の木も芽が少しふくらんで花が開く機会を待ち望んでいるように見えます。

早いもので、今年度も残すところ1か月となりました。6年生は卒業、他の学年は進級という時期を迎えました。嘉川小学校の子どもたちは、最後のまとめを頑張っています。学校全体で、子どもたちに各学年の力を確実に定着させるとともに、次年度の教育活動の充実に向けた教育計画の改善や準備を図っているところです。

また、卒業式に向けて様々な準備も進めています。特に、児童会による「6年生を送る会」の準備、運営や参加を基盤として、6年生への感謝の気持ちを表す活動、自分への励ましや進級に向けた期待感をもたせる活動を展開しています。卒業生も在校生も、自立に向けた様々な活動を通して主体性を育てています。きっと、卒業式では、全校児童の心が一つになって素晴らしい感動を生み出してくれることと思います。

さて、古来より「慶^{よろこ}び」のしるしとされる松・竹・梅は、どれも寒さに耐える植物で「歳寒の三友(さいかんのさんゆう)」と呼ばれるそうです。その中の竹は、強い風や重い雪にも折れることなく、しなやかで青々と天に向かって伸び伸びと成長します。ちなみに、竹には60個ほどの節があり、その数は成長して増えることはなくタケノコの時から同じ数の節を持っているそうです。そして、この節に成長点があり、成長点がすべて伸びるそうです。だから、竹はとても成長が早く、ピーク時には1日に80～100cmも伸び、成長^{あかし}の証として節を残すそうです。

子どもたちが、今の学年・学級での生活や勉強をしっかりと振り返り、たくましく成長した自分に自信と誇りをもってほしいと思います。そして、一人一人が成長の節を自覚し、4月からの学校生活でも「たくましく生き抜く力」を伸ばしてほしいと思います。